

「居る」マンチャー

かつての沖縄戦の歴史と遺産が残され、今も多くのの人に戦争の歴史を語り継いでいる海軍壕公園。

そんな深い歴史が眠る海軍壕公園に、様々な人々が集い、語らえるような展望施設を提案します。

CONCEPT

当該敷地は、長年地域住民から親しまれた公園となっています。

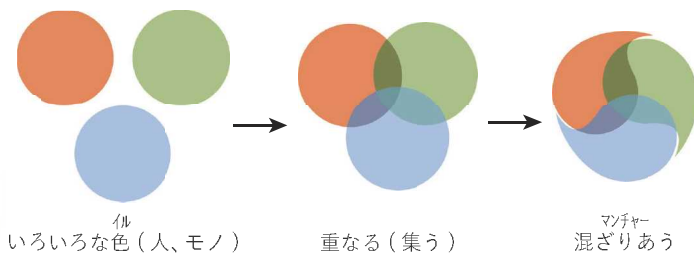
しかしながら、この場所は平和学習時の休憩スペースとしての利用や、豊見城を一望出来る展望台としての利用にとどまっています。そこで、この場所に展望や休憩スペースだけでなく、遊びの空間をプラスすることで地域住民や観光客、親子連れが気軽に立ち寄れる建物となるよう提案します。

歴史の眠るこの地を身近に感じることで、戦争について、平和について考えるきっかけになってほしい。おじーおばーから伝えられる歴史だけでなく、子供が自ら平和について考えるきっかけとなる空間を目指して。それぞれの想いが混ざり合う建物になってほしいと願いを込めて...

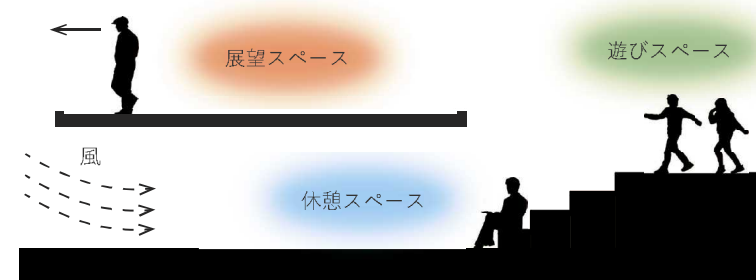


Diagram

老人 大人
子供 観光客
外国人 地域住民



いろいろな「居る」



時には眺めの良い
展望スペースに居たり
時には走り回れる
遊びスペースに居たり
時には日陰のある
休憩スペースに居たり
いろいろな『居る』が
重なり合う空間



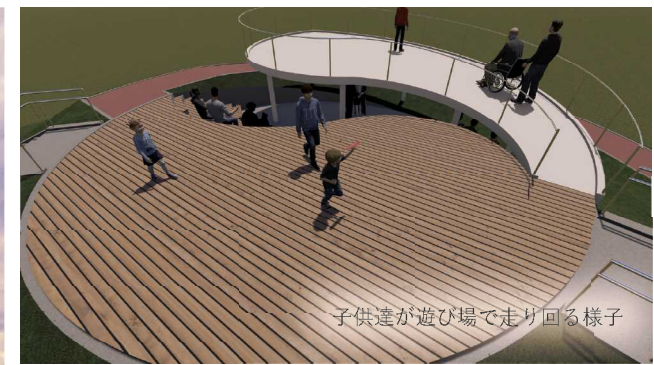
高台から豊見城を望む

自分の住む家を探して家族や友達と盛り上がりたり

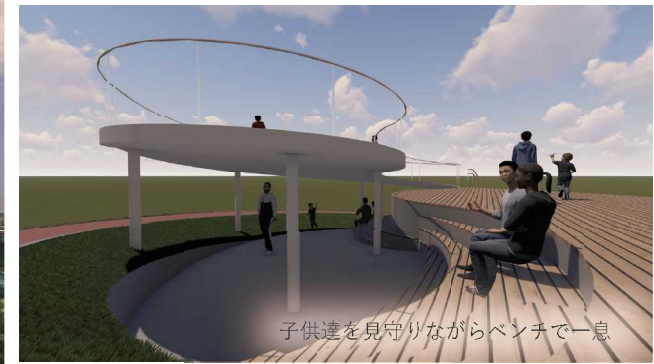
街よりも遠くに見える水平線に思いを馳せてみたり

夕陽が沈む瞬間を隣にいる誰かと共有してみたり

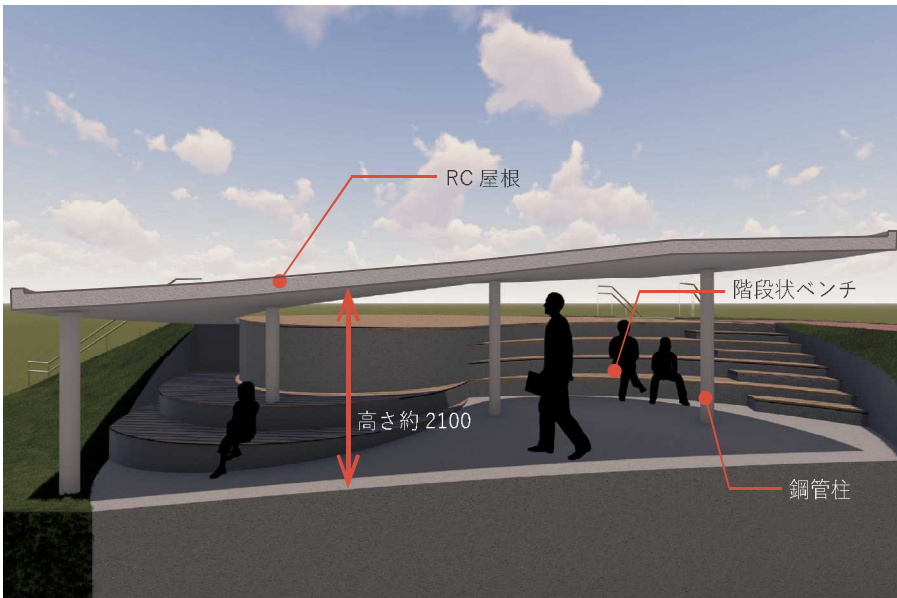
後ろを振り返って静かに佇む慰霊塔を眺めてみたり



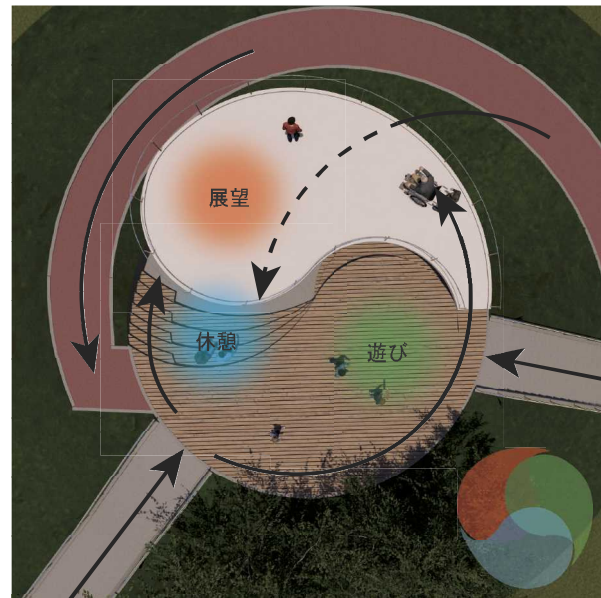
子供達が遊び場で走り回る様子



子供達を見守りながらベンチで一息



建物は慰霊塔のあるこの空間を障害しないよう高さを抑え、屋根面を展望スペースとします。
床は一部を掘り下げることによって階高を確保しつつ、日陰のある休憩スペースとします。
ベンチは景色や会話を楽しんだり、遊びまわる子どもたちを暖かく見守るスペースとします。



園路を含めたそれぞれのスペースを重ね合わせるとともに、ぐるっと大きな渦を巻くような平面形状とすることで、いろいろな空間が緩やかに混ざり合う様子を表現しています。

施設計画概要

- ・構造体は高台である土地柄を考慮し、風の影響を受けにくい鉄筋コンクリート造とします。
- ・展望スペースは緩やかなスロープ状とすることで、バリアフリーに配慮します。
- ・休憩スペースは園路と緩やかに繋げ、一体的な空間とします。
- ・遊びスペースは温かな雰囲気となるよう木調の仕上げとします。
- ・それぞれの空間の仕上げを変えることで、いろいろな色が混ざりあう様子を表現します。

■構成

階数：1階

構造：コンクリート造（一部鉄骨）

面積：44.00㎡（屋根面積）

■仕上

屋根：コンクリート直均し

柱：円形鋼管 フッ素樹脂塗装仕上げ

床：コンクリート直均し、再生木材